

第4回 超高齢社会における

地域公共交通を考える会

2024.5.17 (金)

会場：福島市役所 4 F 庁議室

目 次

- 1 これまでの経過について
- 2 これまでの意見・質問を踏まえた市の考え方について
- 3 新制度（たたき台）について（関係団体意見交換用資料）
- 4 新カードデザインについて
- 5 その他

令和5年

11月28日 第1回超高齢社会における地域公共交通を考える会

令和6年

2月 6日 第2回超高齢社会における地域公共交通を考える会

2月29日 第3回超高齢社会における地域公共交通を考える会

3月 3月市議会定例会議

(システム構築、窓口開設関係予算議決)

5月14日 民生児童委員会長連絡会 意見交換

5月16日 老人クラブ連合会 意見交換

5月17日 第4回超高齢社会における地域公共交通を考える会

区分	意見・質問	考え方
	上限金額の引き上げをお願いしたい。	令和5年度に利用した方の8割が年間2万円以内の利用となっています。頻繁に利用されていた方にはご迷惑をおかけいたしますが、皆さんが使えるようになり、そしてずっと使えるようにするためには、一定の負担をしていただかなければならないということをご理解いただきたいと思います。 また、高齢者の足の確保に支援を行っている自治体のほとんどは、その額は年1万円以下となっており、他の自治体と比べても手厚い支援策になっています。
制度	タクシー2万円の選択肢も必要ではないか。	これまでバス・飯坂線を利用していた方もタクシー利用を選択することが考えられ、バス等の路線廃止などにも繋がりがねません。 また、タクシーは相対的に運賃単価が高く、市の負担が増えると、制度維持が困難になることも考えられます。 できるだけバス・鉄道もご利用いただき、公共交通をみんなで守っていくということが大事だと考えています。
	(タクシー) 車載端末の画面を見やすくできないか。	端末に表示される情報は必要最小限とし、利用券の利用枚数や支払金額は見やすく、大きく表示するようシステムを開発していきます。
	(タクシー) 利用券の残枚数を覚えてもらえない。	車載端末の画面表示と音声で残枚数をご案内する予定であります。 また、あらかじめ乗車時に端末にかざすと残枚数を確認できる仕様も検討していきます。(制度移行当初はカードに利用登録がされているか確認する意味でも有用)

2 これまでの意見・質問を踏まえた市の考え方

区分	意見・質問	考え方
制度	(タクシー) 障がい者割引との併用はできるのか。	併用できる方向で検討していきます。
	高齢者以外の同行者がいてもタクシー利用できるのか。	同行者がいても利用できるようにする予定です。
	マイナンバーカードを利用する理由は何か。	マイナンバーカードは健康保険証としての利用をはじめ、今後も活用の広がりが想定されます。タッチするだけという簡単操作のため、利用もしやすく有用性の高いものと考えています。 また、なりすましなどの不正利用の防止やタクシー事業者の事務負担軽減につながるほか、紙券の場合に発生する毎年の印刷・郵送代が不要になります。
	マイナンバーカードの安全性が心配。	カード本体には「税関係」や「年金関係」などのプライバシー性の高い情報は記録されておりません。また、高いセキュリティ基準で守られており、万が一紛失した場合でも、24時間365日、専用窓口への電話で一時利用停止の措置をとることができます。
	マイナンバーカードを取得していない人は利用できないのか。	タクシー利用にはマイナンバーカードが必須となります。出張申請受付など担当部署と連携しカードを取得しやすい環境を進めていきます。 〈参考〉マイナンバーカード所有率（R6.3時点） 75～79歳 80.1% 80～84歳 75.1%

区分	意見・質問	考え方
	バス・飯坂線のシルバーパスポートの申請やタクシーのマイナンバーカードへの利用登録は毎年度行う必要があるのか。	バス・飯坂線もタクシーも利用金額は年度切替時に自動で更新されますので、毎年度の申請・登録は必要ありません。 (マイナンバーカード自体が更新された場合は、再度登録が必要になります。)
	「バス・飯坂線のみ」から「バス・飯坂線とタクシー」に変更できるのか。	変更の申請をしていただき、年度切替時に変更できるよう検討していきます。
制度	(タクシー) 利用券は一度に何枚も使えるのか。おつりはでるのか。	例えば、一度の乗車に2枚までといった利用可能枚数を設定し、運賃額を超える利用はできないようにする予定です。
	(タクシー) 周辺部で運賃が高額になる地域の方でも金額は同じか。	上限金額は等しく設定する予定です。 相乗り利用の促進や、運賃額に応じて使用できる利用券枚数を設定できるか必要性も含めて検討していきます。
	財源は大丈夫か。	タクシー利用を加えることにより事業費は増加します。持続可能な制度としていくための上限金額を設定していく考えです。
	(感想) 年間60万円を超えて利用されていることを知り驚いている。	—

区分	意見・質問	考え方
手続	高齢者は郵便だけで理解できるか心配である。	市政日より、チラシをはじめ様々な手段で広報し、市から申請書を郵送した後も、申請忘れ防止のためのリマインド通知を送付する予定です。 また、地区説明会を開催し新制度について丁寧に説明していくほか、民生委員等関係者にも周知等のご協力をお願いしていきたいと考えております。 さらに、コールセンターも開設し、利用者からの問い合わせに対応していきます。
	タクシーの利用登録は支所でもできるのか。	本庁及び6支所（清水、北信、飯坂、松川、信夫、吾妻）に受付窓口を設置する予定です。
	利用登録窓口は混雑しない工夫が必要。	窓口は予約制として混雑や待ち時間の解消を図ります。予約はコールセンターのほか、LINEでの予約も検討しています。

シルバーパスポート事業 の考え方について

高齢者の積極的な社会参加と公共交通の利用促進を目的に対象公共交通の運賃を無料化



対象となる方

市内に住所を有する満75歳以上の方（広域避難者も含む）

※誕生月の前月に郵送

※転入者は年齢到達者と同時郵送



対象の路線

バス（67路線）
福島交通、JRバス東北、
自治体バス

鉄道（1路線）
福島交通飯坂線

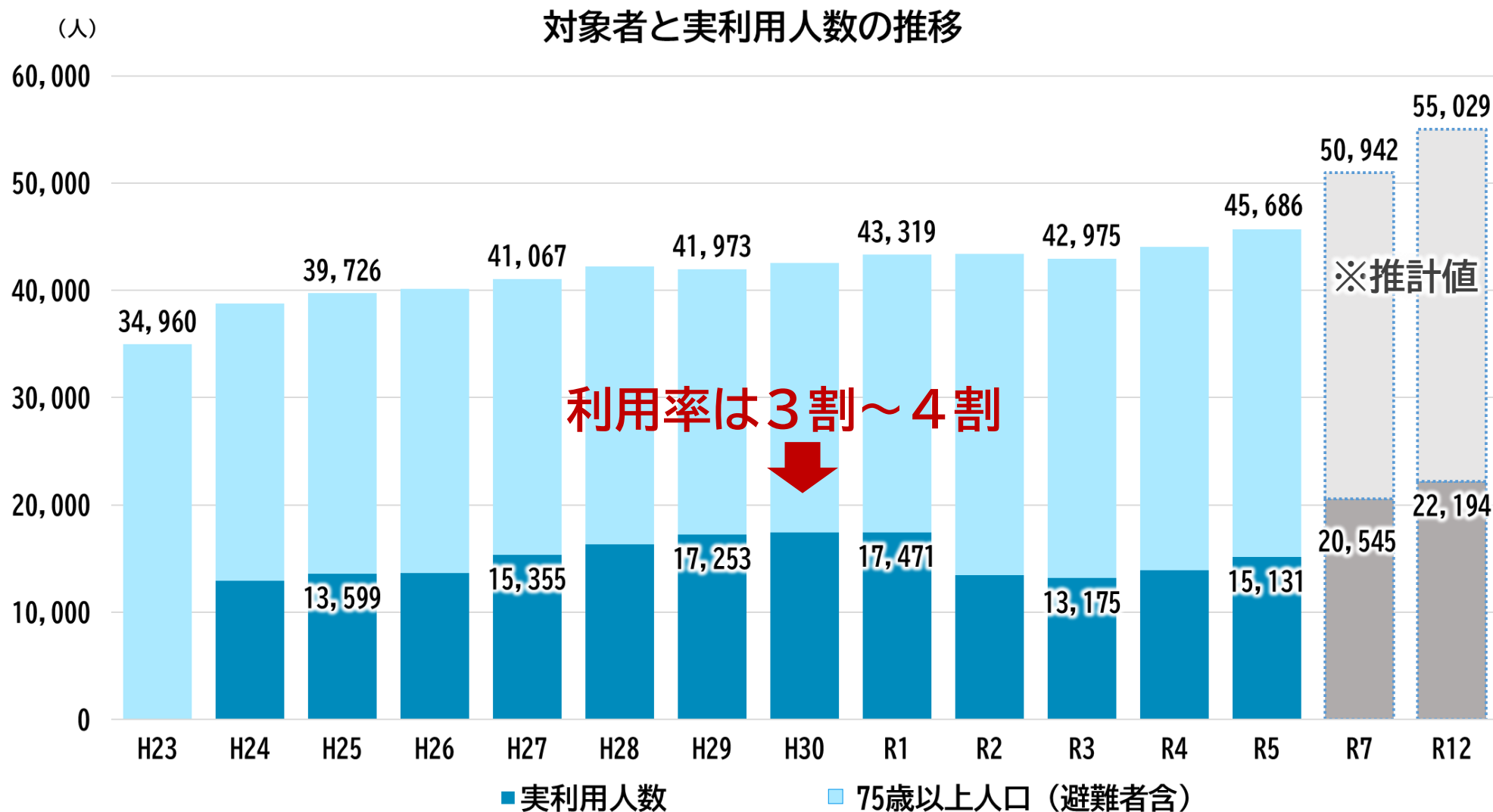


取組の経過

H22年10月	制度開始
H23年 4月	乗車証をICカード化
H24年 4月	広域避難者の利用開始
H25年 4月	JRバス東北を追加
H27年 4月	福島交通飯坂線を追加
R 6年 4月	自治体バス川俣松川線を追加

現状（利用者数推移）

実利用人数は令和元年度がピークで1万7千人、利用率は令和5年度で33%



※推計値の実利用人数は、コロナ禍前の利用状況から推計

男性と比較して**女性**の利用者が多く、**75歳から84歳**の利用者が**73%**

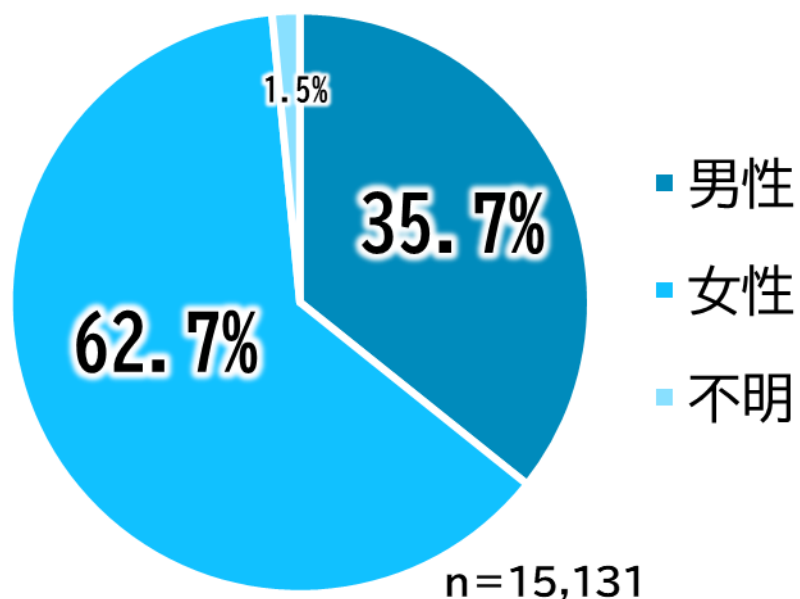


図:利用者の性別

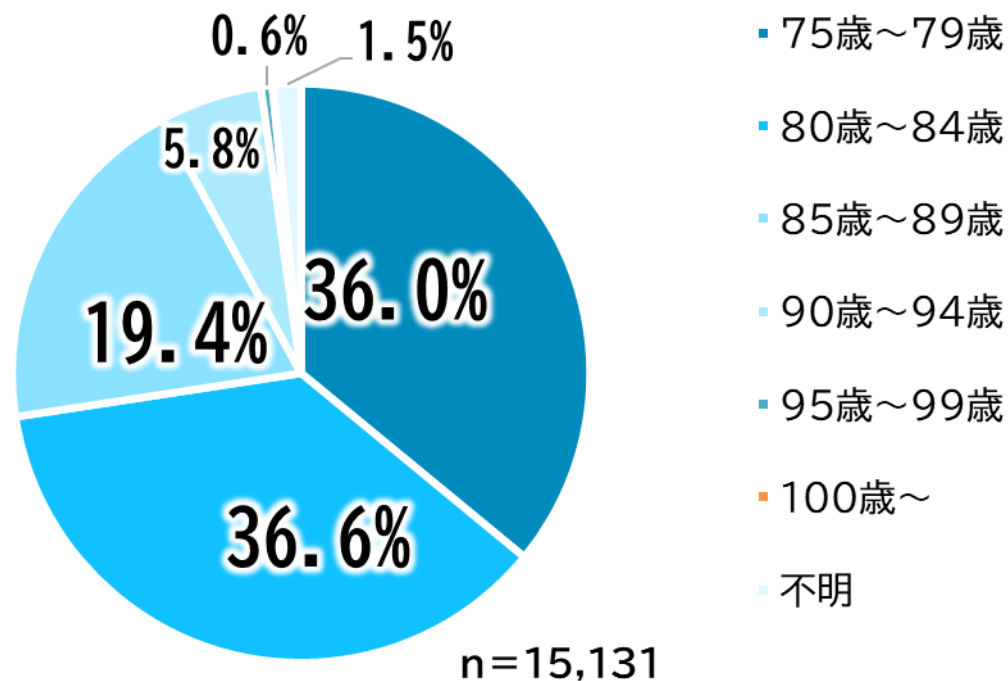


図:利用者の年齢

現状（利用状況）

利用回数は月6回までの利用者が82%、年間の利用運賃は2万円以下が80%

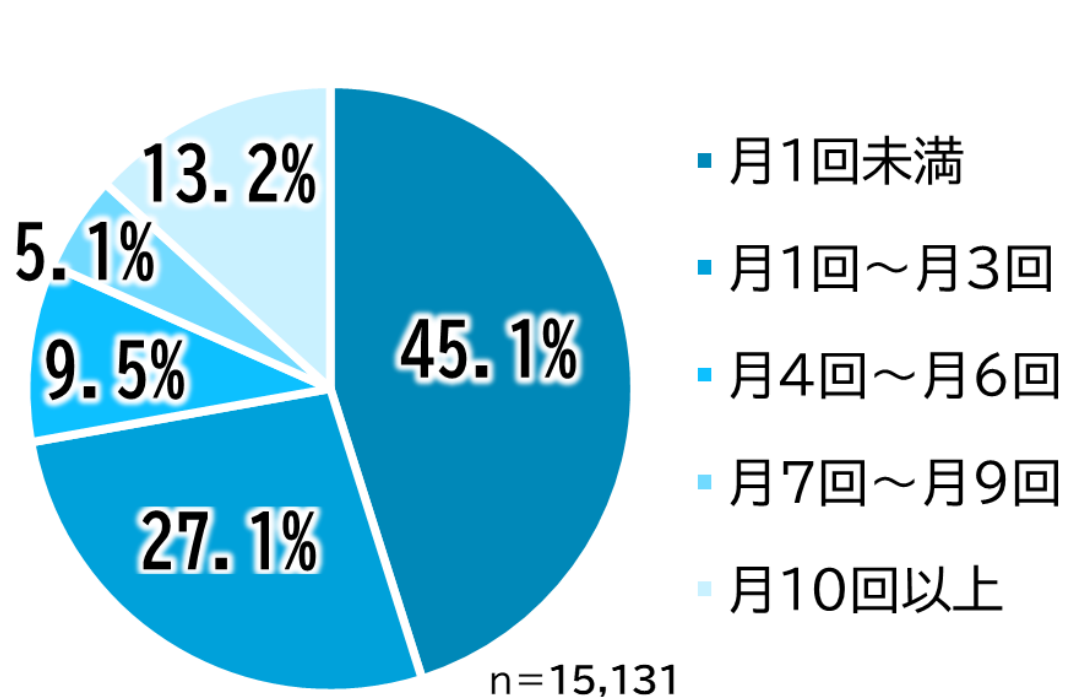


図:利用回数(1人当たり)

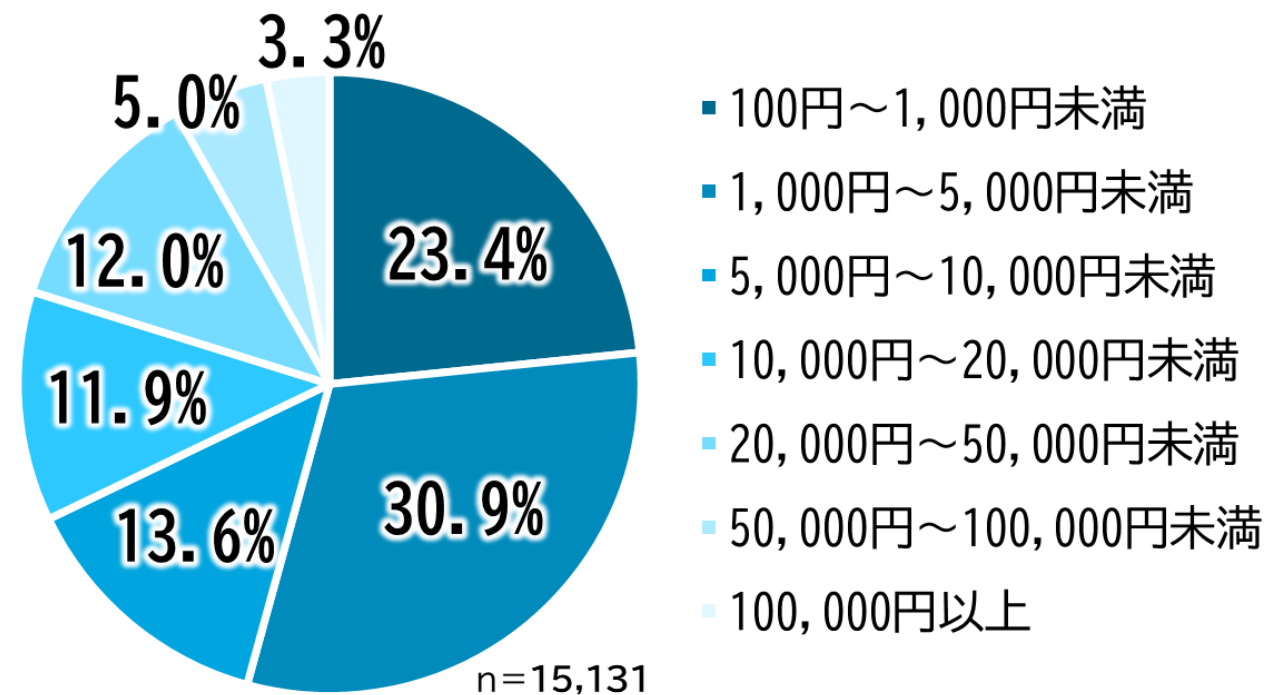
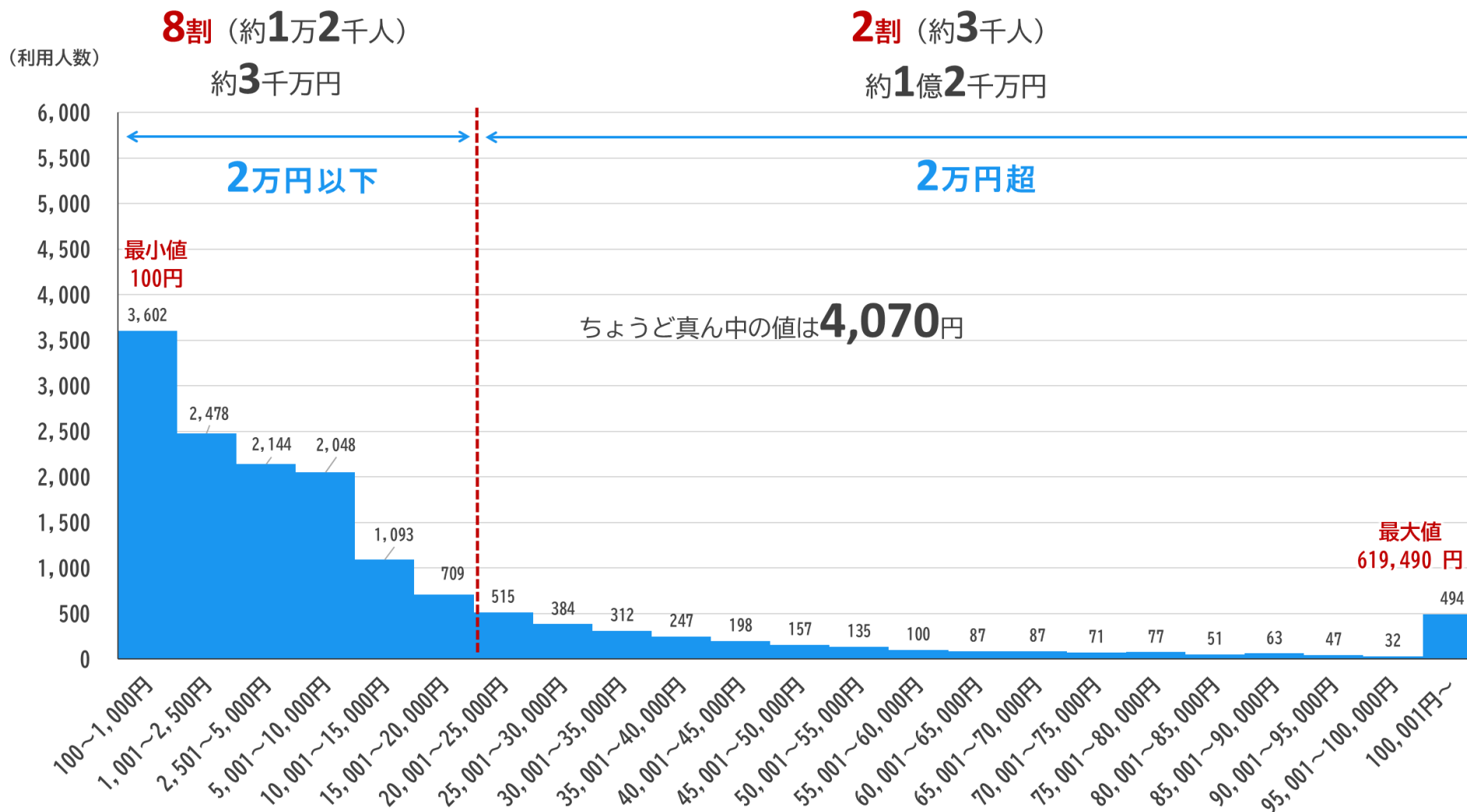


図:年間利用運賃額(1人当たり)

現状（利用状況）

年間で最も多い利用回数は**1,855**回、最も多い利用額は**619,490**円

1 乗車あたり
平均利用額 **280**円



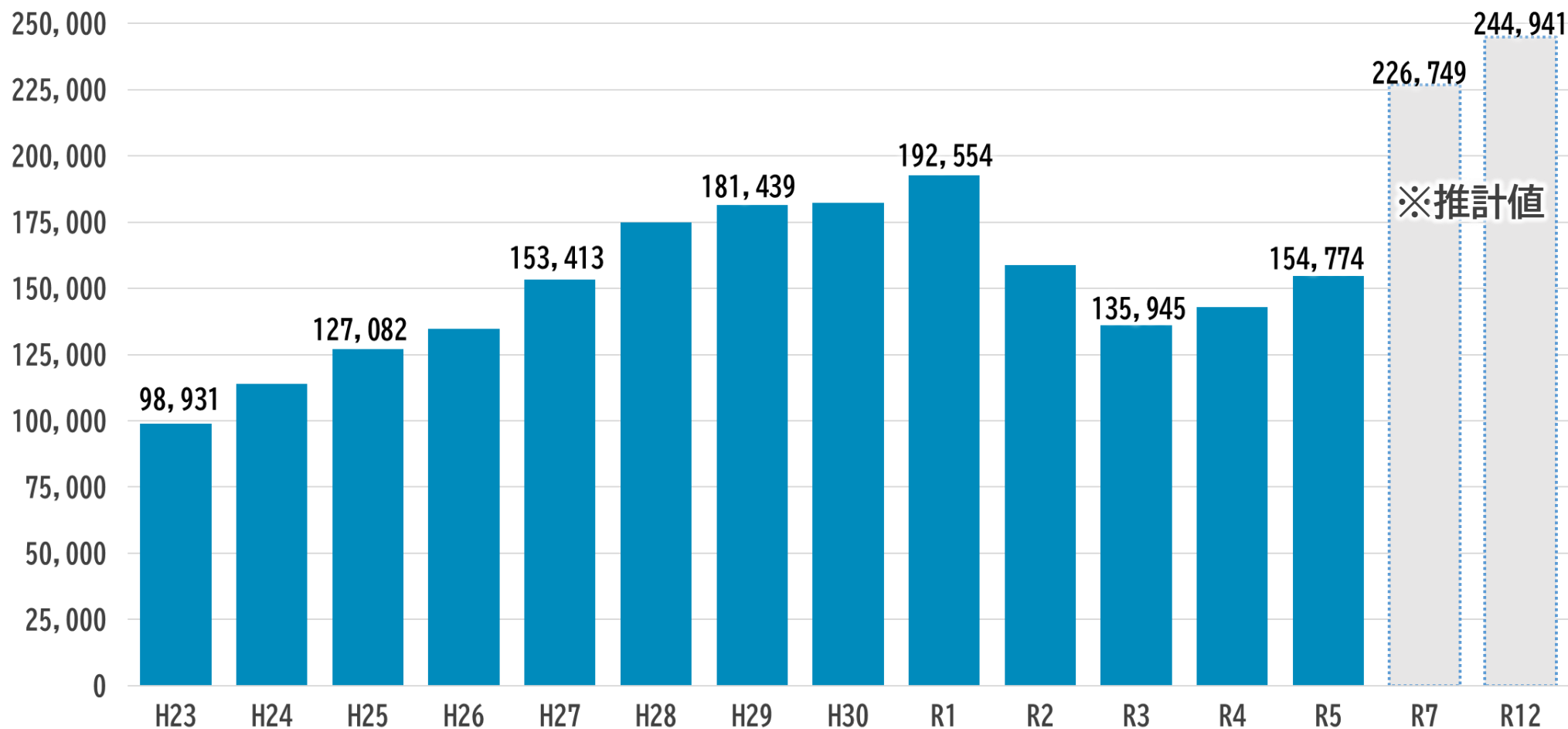
《令和5年度実績より》

現状（事業費）

事業費は、令和元年度がピークで1億9千万円、令和7年度で事業費は2億円超を予想

事業費推移

(千円)



※推計値は、コロナ禍前の利用状況から推計

全体に占める利用者は約**3**割、利用していない方が約**7**割

利用回数は月**6**回までの利用者が約**8**割、年間の利用運賃は**2**万円以下が約**8**割

利用者の上位約**2**割の方で、事業費の約**8**割を占めている

事業費は、令和元年度で**1**億**9**千万円、令和**7**年度で事業費は**2**億円超を予想

課題1 利用しづらさ

公共交通不便地域では利用がしづらい

課題2 利用の個人差

利用者間で、利用回数・利用金額のひらきが大きい

課題3 持続可能性

財政面や公共交通のバランスも考えた持続可能な制度の検討

(課題解決の方針)

公平・公正 + 持続可能な制度へ

利用しづらさの解消

利用の個人差の解消

持続可能性

タクシーを追加して、バス・飯坂線とタクシーを組み合わせ利用
上限金額の設定（年間2万円想定）

(効果)

- 公共交通の選択肢が増え、バス停や駅から遠い地域でも利用が可能に。
- どの利用方法にも等しく上限額を設定することで制度として公平に。
- 公共交通が維持困難な状況から、できる限り相互利用を促す仕組みを取り入れ、共存を図って持続可能な公共交通へ。

新制度（たたき台）の概要

- 公共交通機関の利用促進のため、これまで通り「バス・飯坂線」のみの利用と「バス・飯坂線」に「タクシー」を加えた利用のどちらかを選択
- タクシー利用のための乗車証は、健康保険証としての活用のほか他の行政サービスでも活用が想定されている「マイナンバーカード」を活用、バス・飯坂線は従来同様のＩＣカードを使用
- それぞれカードをタッチするだけの簡単な利用方法

バス・飯坂線のみ利用

2万円



利用金額

2

万円まで

ご自身にあった

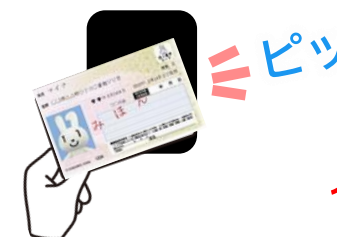
利用方法
を選択

バス・飯坂線とタクシー利用

1万円



1万円

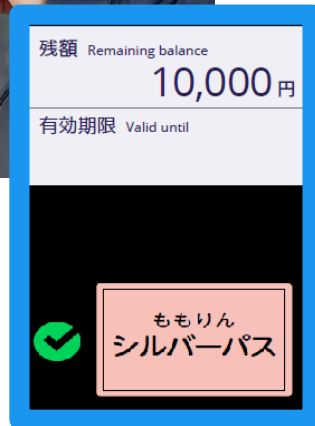


カードをタッチするだけ
簡単便利！

新制度（たたき台）のバス 利用イメージ

▼ 乗るとき

①ICカードを読取機にタッチします。



残高が表示されます。

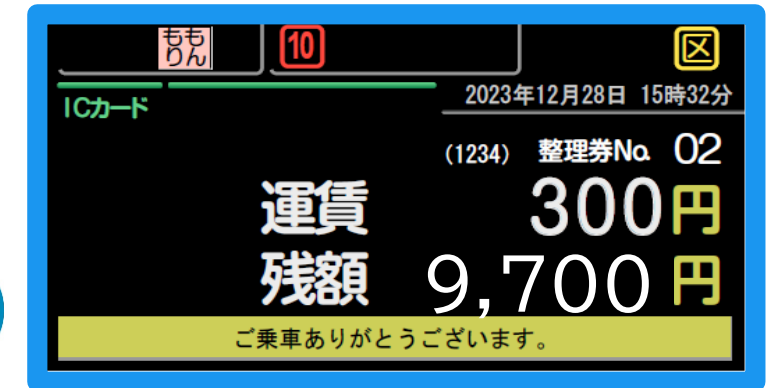


②ICカードを運賃箱にタッチします。

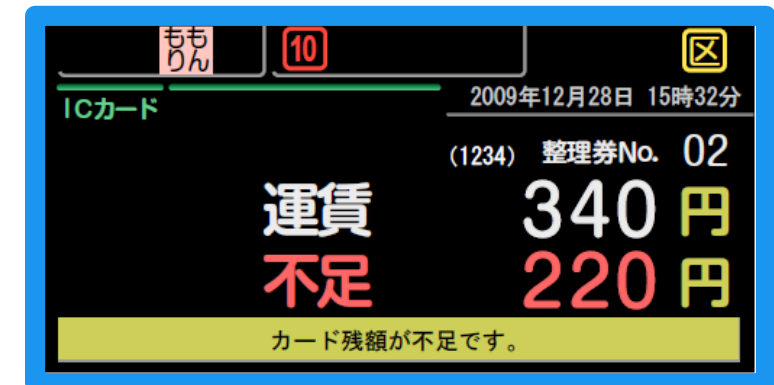


▼ 降りるとき

③残高を確認し降車します。



注：不足の表示が出たら
不足額を支払ってください。



(例) 利用額を使いきったとき
市域をまたいで利用したとき

新制度（たたき台）の タクシー 利用イメージ

▼ 降りるとき

- ①マイナンバーカードを使うことを
運転手に伝えてください。



運賃は1,300円
になります。

- ②利用券を何枚使うか伝えて
マイナンバーカードを読取機にタッチ

タクシー利用券
2枚使います。



- ③運賃から利用券分を引いた
残りの額をお支払いください。



差額は300円
になります。

※読取機の画面イメージ

運賃	1,300円	
利用券	2	-1,000円
残り利用枚数 18枚		
お客様 支払額	300円	

利用券枚数は年度切替時に
自動的にリセット（更新）



新制度（たたき台）の申請イメージ

Point 「バス・飯坂線」利用か「バス・飯坂線とタクシー」利用のどちらかを選んでください。

申請書が郵送
されます



使いたい方を
選んで申請



A バス・飯坂線 自宅に新しいカードが届きます
B バス・飯坂線とタクシー A + 必要書類を持って登録窓口へ

(電子申請or郵送)



どちらかを選んで
チェック ☒



※わからないことはコールセンターへ電話で確認ができます

A
バス・
飯坂線

新しいシルバー
パスポートが
自宅に届きます



ICカード



2万円

B
バス・
飯坂線
タクシー

新しいシルバー
パスポートが
自宅に届きます



ICカード



1万円

窓口で登録



マイナンバー
カード



1万円

新制度（たたき台）実施に向けた主なスケジュール

令和6年

- 5月14日 民生児童委員会長連絡会 意見交換
- 5月16日 老人クラブ連合会 意見交換
- 5月17日 超高齢社会における地域公共交通を考える会
- 5月24日 自治振興協議会連合会 意見交換
- 6月下旬～
9月以降 地区自治振興協議会
市政だよりで広報、各媒体で広報
コールセンター開設
地区説明会
申請書の郵送開始
- 10月～ タクシー選択者へ登録窓口案内ハガキの郵送開始
- 11月～ タクシー選択者のマイナンバーカード登録窓口開設
※本庁と6支所（清水、北信、飯坂、松川、信夫、吾妻）

令和7年

- 4月 1日 新制度スタート

Q 1 : これまで無制限でバス・飯坂線を利用していたのに、2万円では少ないのでは？

A 1 : 令和5年度にご利用された方の**1回当たりの平均運賃は280円で、月6回まで利用される方が8割です。**月6回利用とした場合、年72回、**年間約2万円の計算となります。**

年間1万円のご利用の場合、月3回利用、年36回程度ご利用いただけます。

これまで頻繁にご利用いただいていた方にはご迷惑をおかけいたしますが、**皆さんが使えるようになり、そしてずっと使えるようにするためには、それぞれ皆さんに一定の負担をしていただかなければならないということをご理解ください。**

また、**高齢者の足の確保に支援を行っている自治体のほとんどは年1万円以下**であるため、他の自治体と比べても手厚い支援策になっています。

Q 2 : タクシー利用になぜ2万円の設定がないの？

A 2 : タクシー利用に2万円を設定すると、現行制度を利用しづらかった方だけでなく、**これまでバス・飯坂線を利用されていた方もタクシー利用を選択するかもしれません。**

そうすると、バス・飯坂線の利用者が減って、路線廃止等にも繋がりがかねません。

また、タクシーは相対的に運賃単価が高く、市の負担が増え、制度維持が困難になることも考えられます。

できるだけ電車・バスもご利用いただき、公共交通をみんなで守っていくということが大事だと考えています。

Q3：なぜタクシー利用にマイナンバーカードを使うの？安全性は？

A3：マイナンバーカードの活用は、なりすましなどの不正利用の防止やタクシー事業者の事務負担軽減につながるほか、紙券の場合に発生する毎年の印刷・郵送代が不要になります。また、マイナンバーカードは健康保険証としての利用をはじめ、今後も活用の広がりが想定されます。利用者はタッチするだけという簡単操作のため、利用しやすく有用性の高いものと考えています。さらに、マイナンバーカード本体には「税関係」や「年金関係」などのプライバシー性の高い情報は記録されていませんし、高いセキュリティ基準で守られています。万が一紛失した場合でも、24時間365日、専用窓口への電話で一時利用停止の措置をとることができます。

新制度

高齢者公共交通利用助成事業

券面（券種）

① シルバーパスポート



バス 飯坂線

券面（券種）

② マイナンバーカード



タクシー

現カード



A案



B案



C案



その他のデザイン

D



G



J



E



H



K



F



I



L

